

第1回肩運動機能研究会

日時：2006/12/02

場所：昭和大藤が丘リハビリテーション病院

参加者名簿

- 秋田恵一 113-8519 文京区湯島 1-5-45 東京医科歯科大学臨床解剖学助教授
- 伊藤武彦 135-0016 江東区東陽 6-3-2 イースト 21 タワー J & J
- 鈴木一秀 227-8518 横浜市青葉区藤が丘 2-1-1
昭和大藤が丘リハビリテーション病院
- 菅谷啓之 274-0822 船橋市飯山満 1-833 船橋整形外科スポーツ医学センター
- 高村 隆 273-0032 船橋市葛飾町 2-351 船橋整形外科 理学診療部課長
- 玉井和哉 321-0293 下都賀郡壬生町北小林 880 獨協医大整形外科教授
- 千葉慎一 227-8518 横浜市青葉区藤が丘 2-1-1
昭和大藤が丘リハビリテーション病院
- 筒井廣明 227-8518 横浜市青葉区藤が丘 2-1-1
昭和大藤が丘リハビリテーション病院院長
- 浜田純一郎 963-8034 郡山市島 2-9-18 桑野協立病院整形外科
- 藤井康成 891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町 1 番地
鹿屋体育大学保健管理センター教授
- 藤田和樹 560-0043 大阪府豊中市待兼山町 1-16
大阪大学 大学教育実践センター 助教授
- 山口光國
フィジストレーナー

発表者と演題名

筒井廣明 『肩の病態診断と機能診断』

菅谷啓之 『肩疾患の保存的治療の頻度と機能診断』

伊藤武彦 『これでいいのか肩関節鏡！！』

藤井康成 『pelvic mobility テストによる骨盤の動きの評価』

鈴木一秀 『積分筋電を用いた筋バランスの評価と scapula45 撮影』

千葉慎一 『肩関節の機能評価と機能訓練』

山口光國 『機能の診方・考え方-理学療法士の立場から』

藤田和樹 『高校野球部員のコンディショニングとトレーニング』

秋田恵一 『上腕骨二頭筋長頭を支える構造 —機能の解析は構造を正しく理解することから—』

第1回肩運動機能研究会では、肩運動機能研究会を発足させる背景について筒井、菅谷先生、伊藤氏に語っていただきました。関節鏡手術の進化とスポーツ選手を扱う機会が増えた今、肩疾患を機能的に診察した全身からアプローチしなくてはなりません。そのため従来の肩診察法に加え、機能的診察法および治療法を確立する必要があります。機能的診察法について医師の立場から藤井、鈴木先生に、理学療法士の立場から山口、千葉先生に話しをいただきました。また藤田先生に高校野球部で得たデータを、秋田先生に解剖学の立場から最新の肩に関する解剖学的知識をプレゼンしていただきました。

時間不足で肩運動機能研究会の意義と運営方法にまで討議がいたらず、何のためにと疑問をもたれた方もおられたと推測いたしております。改めて本研究会の目的は、肩の機能的診察法および治療法を確立することです。また肩運動機能研究会の名称は、肩学会に付随した肩の運動機能研究会と混同されますので、会の名称を変更する必要があります。名称についてご意見をいただければ幸いです。次回の研究会までに会の名称と運営方法について案を練っておきます。ご協力をお願いいたします。

事務局長 浜田純一郎